



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	株式会社アズマ管理棟マンション2 新築工事	BEE	1.3	BEEランク	B+
					★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.4 /5		ふつつ		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1 /5		ふつつ		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点		3.4		
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③ glare対策/④部品・部材の耐用年数)                      ①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。                      ④タイル→40年。                      ④給水(C)、給湯(C)、排水VP(B)。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                      特になし</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                      ⑦日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。                      ⑨BEI=0.78。                      ⑩電力量計は各住戸に設置されます。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                      ⑬ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                      ⑭ライフサイクルCO2排出率90%</p>	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	
				3.2	3.2.1	③
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	
			2.2.2	④		
			2.2.3	④		
			2.2.4	④		
			2.2.5	④		
			2.2.6	④		
	Q-3	1			⑤	
		3	3.2		⑥	
	LR-1	1			⑦	
		2			⑧	
		3			⑨	
		4	4.1		⑩	
			4.2		⑩	
	LR-2	1	1.1		⑪	
			1.2	1.2.1	⑪	
				1.2.2	⑪	
		2	2.1		⑫	
			2.2		⑫	
			2.3		⑫	
			2.4		⑫	
			2.5		⑫	
			2.6		⑫	
		3	3.1		⑬	
			3.2	3.2.1	⑬	
				3.2.2	⑬	
				3.2.3	⑬	
	LR-3	1			⑭	
		2	2.2		⑮	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点		2.9		
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                      特になし</p>	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	
				2.1.2	⑯	
			2.4	2.4.1	⑰	
				2.4.2	⑰	
				2.4.3	⑰	
				2.4.4	⑰	
				2.4.5	⑰	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点		3.1		
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                      ⑳階高:2.91m。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)                      特になし</p>	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	
		3	3.1	3.1.1	⑲	
			3.1.2	⑲		
	Q-3	3	3.1		㉑	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点		2.5		
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)                      特になし</p> <p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)                      特になし</p>	Q-3	1			⑤	
		2			⑥	
		3	3.2			⑥
	LR-2	2	2.5		⑫	
	LR-3	2	2.2		⑮	

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社アズマ管理様マンション2 新築工事	階数	地上10F
建設地	静岡県駿東郡長泉町下土狩字阿弥 陀堂204-1外7筆	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年2月26日
敷地面積	2,629 m <sup>2</sup>	作成者	後藤 潤
建築面積	359 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,504 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE=1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性 耐用性 対応性

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境 まちなみ 地域性・

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源 非再生材料の 汚染物質

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=2.9

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> CASBEE 静岡 2021 年版による評価結果。 利用者へ配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。	<b>Q2 サービス性能</b> タイル>40年。 階高:2.91m。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。 BEI=0.78。 電力量計は各住戸に設置されます。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率90%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される